

evOLUTION®

FURY5
フューリー

255mm万能切断テーブルソー

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。



本機をご使用になる前に必ずお読みください

重要

このたびは、エボリューション社製テーブルソーをお買い上げいただきありがとうございます。安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分にご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

品質保証

ご購入いただきました製品に工場製造上の欠陥または材質の欠陥が認められた場合は、ご購入より1年間無償でその部品の交換または修理を行います。誤った取扱い、整備不足や事故などによって故障した場合は、保証できませんのでご了承ください。消耗品や補修部品等のお問い合わせは、エボリューションパワーツール株式会社までご連絡ください。

※保証書はこの取扱説明書の最終ページについています。領収書（またはレシート・納品書）は大切に保管しておいてください。

『警告』、『注意』の意味について

ご使用上の注意事項は『警告』と『注意』に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- △ 警告 誤った取扱をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- △ 注意 誤った取扱をしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

『警告』『注意』以外に製品の操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は『(注)』にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、ご指示に従って使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

1. 作業場はいつもきれいに保ってください。

- ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・電動工具は、雨中でのご使用や、湿った又はぬれた場所で使用しないでください。
- ・作業場は十分に明るくしてください。
- ・可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。

3. 感電にご注意ください。

- ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないでください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

- ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかるところに保管してください。

6. 無理に使用しないでください。

- ・ 安全に能率よく作業をするために、電動工具の能力にあった速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻きこまれる恐れがありますので着用しないでください。
- ・ 屋外での作業には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

9. 保護メガネを使用してください。

- ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉塵の多い場所では、防塵マスクを併用してください。

10. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

11. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ・ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

12. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとバランスを保つようにしてください。

13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはエボリューション社に修理を依頼してください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理をする場合。
- ・ 刃物等の付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具が取り外されていることを確認してください。

16. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源をつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

- ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ・延長コードご使用時のコードは2.0mm²が適切です。
※細いコードをお使いになられるとノコの回転が不安定になる可能性があります。

18. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。

19. 損傷した部分がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調節及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはエボリューション社で修理を行ってください。
- ・スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書及びエボリューション社指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買上げの販売店またはエボリューション社にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

※ご使用上の注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、テーブルソーをご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠
警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバーは絶対に固定したり取り外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
・ チップソーが露出したままですとけがの原因となります。
3. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安全性のよい台を設けてください。
・ このような台がないとけがの原因になります。
4. 切断する材料は、ハイスで確実に固定して作業してください。
・ 確実に固定していないと、けがの原因になります。
5. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔を近づけないでください。
・ けがの原因になります。
6. 使用中は、本機を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
7. 切断中で、チップソーを回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じけがの原因になります。その場合、スイッチを切り回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
8. 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、またはエボリューション社にご連絡ください。（または修理に出してください。）
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 破損又は変形しているノコ刃を使用しないでください。

⚠
注意

1. 本体テーブル板またはエクステンション・テーブル（補助板）が磨耗している場合は交換してください。
2. ノコ刃を交換するときは、ノコ刃の溝幅が、割刃の厚さ以下にならないように注意して取り付けてください。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因となります。
4. 作業中前に、安全を確認したうえで空転させ、本機の振動やノコ刃の揺れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因となります。
5. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・ 強い反発により思わぬけがの原因となります。

△
注
意

7. 必要に応じて適切な保護具を使用してください。

- ・騒音の大きな作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音用保護具を着用してください。
- ・有害な粉塵を吸い込む危険性を減らすために、防塵マスクを着用してください。
- ・ノコ刃や表面が粗い材料を取り扱う時には、手袋を着用してください。ノコ刃を運搬する場合は、収納ケースに入れて運んでください。

8. 手だけで材料を固定又は角度決めをして切断作業をすることは絶対にしないでください。

手は材料を支えるのみとし、材料の位置決めや誘導には、フェンスやマイターゲージを必ず使ってください。警告：フェンスやマイターゲージを使わずに切断作業を行うことは、事故の主な原因です。

9. 動かなくなったノコ刃を点検する際には、モーターの損傷を防ぐために、直ちに電源スイッチを切ってください。

10. 長尺材または幅広材を切断するときは、材料が安定するように支えてください。

11. 溝切りや相じゃくり加工をするときには、ノコ刃に適切な保護カバーを装着して行ってください。

12. 本機は、スロット(止まり溝)加工には使用しないでください。

13. 本機を移動・運搬するときは、運搬台車等を使って行ってください。

持ち上げる際は、保護カバーを持たないでください。

14. 高速鋼(HSS、ハイス)ノコ刃は使用しないでください。 ノコ刃(チップソー)は、本機の最高回転数を満たす性能を持ち、かつ切断する材料に適したもの必ず使用してください。

チップソーに関するご注意

エボリューション社専用チップソーをご使用ください。指定以外ものは、事故やけがを招くことがあるので、推奨できません。ノコ刃は確実に取り付けてください。交換する新しいノコ刃に塵等が付いていないことを確認し、切れが悪い又はヒビや割れなどの異常があるものは使用しないでください。ノコ刃の状態や磨耗を定期的に点検してください。損傷又は刃先が磨耗している場合には、交換してください。ガードに緩みや損傷がある場合には、交換してください。切断中にノコ刃が熱くなっていることがありますので、注意してください。切断している以外の材料は、作業の妨げにならない所に整理して置いてください。

表示・図記号

(注) 銘板ラベルが読みにくくなったり剥がれている電動工具は使用しないでください。交換用ラベルが必要な場合は、当社営業所までご連絡ください。

表示・図記号	説明
V	電圧(ボルト)
A	電流(アンペア)
Hz	周波数(ヘルツ)
Min ⁻¹	回転速度
~	交流電流
No	無負荷速度
	保護メガネを着用すること
	防音用保護具を着用すること
	触れないこと
	防塵マスクを着用すること
	RoHS(EU特定有害物質使用制限)適合
	WEEE廃棄物指令準拠

同梱部品・工具（本機をダンボールから出しますと写真のような部品、工具から構成されていますので確認してください。）

1. 組立用金具各セット
2. 脚部 各部品
3. 拡張テーブル
4. その他－マイターゲージ(角度定規)、リップフェンス(平行定規)、保護カバー、フェンスレール



1a. ネジ、連結金具、ノコ刃交換用用具



1b. 各ネジ一覧



2. 脚部 各部品

付属品

エクステンションテーブル(拡張テーブル)	×2
エクステンションテーブル用サポート支柱	×4
ノコ刃交換用用具	×2
マイターゲージ(角度調節定規付)	×1
縦型固定クランプ	×1
調整式リップフェンス(拡大鏡付)	×1
後方安定補助脚	×2
ブッシュスティック	×1
フェンスレール	×2
テーブルソー・スタンド(要組立)	×1
六角レンチ	×1
フェンス連結固定金具	×1



3. 拡張テーブル



4. その他-マイターゲージ(角度定規)、リップフェンス(平行定規)、保護カバー、フェンスレール

Machine Overview



各部の名称

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. ON/OFF スイッチ | 8. スライド式マイターフェンス(角度定規付) |
| 2. ノコ刃(チップソー) | 9. 縦型固定クランプ |
| 3. 割刃(ライビングナイフ) | 10. ノコ刃高さ調整ハンドル |
| 4. 保護カバー | 11. ノコ刃角度調整ロック解除レバー |
| 5. リップフェンス(平行定規) | 12. ノコ刃角度調整用ホイール |
| 6. リップフェンス固定レバー | 13. プッシュスティック(押し棒) |
| 7. リップフェンス拡大鏡 | 14. 後方補強ブレース |



図1
脚部を構成する各部品

組み立て方法

《本機の組立ては、次の手順で行ってください。》

1. テーブル脚部の組み立て方

テーブル脚部品として、脚部4本、ラバーフット4個、横材8本、後部補強ブレース2個が入っています。(図1参照) 黒色の横材は脚部に、緑色の横材は脚の中間部に取り付けられます。横材はそれぞれ2本組で、黒・緑(長)各2本、黒・緑(短)が各2本あります。

組立て始める前に、部品を確認してください。

1. 各脚にラバーフットを取り付けます。脚下部にある金属製の2つのツメをラバーフット底にある25mm溝穴にそれぞれ差し込み、ツメを折り曲げて固定してください。(図2参照)



図2 ラバーフット取り付け図

2. ラバーフットを取り付けた脚2本と、黒色(長)横材1本、緑色(長)横材1本を用意します。(図3a参照) 黒色の横材に付いている位置決め突起が、脚上部の長方形の溝にかみ合うようにあわせて、6mm六角ボルトで取り付けてください(図3b参照)。緑色の横材は脚中間部に6mm六角ボルトで取り付けてください(図3c参照)。この横材は、脚の斜角に合うように先端部が傾斜しています。傾きが合うように組み合わせてください。まだこの段階では、ボルトを完全に締付けないでおきます。ここで組み立てた部分は、脚部を構成する一方の側面です。ちょうど頭が平らなアルファベットのAの字のような形です。(図3d参照)



図3a
足組部品図



図3b
接続部拡大 1



図3c
接続部拡大 2



図3d
脚部と横材を組み合わせた側面部



図4a
脚部くみ上げ過程



図4b



図4c
ボルトを通しての足組作業



図4d

3. もう一組を同様に組み立てます。

4. 組み立てた二組をつなぎ合わせるように、残りの横材(黒色2本、緑色2本)をそれぞれ取り付けると、長方形のテーブル脚部が組みあがります。(図4a, 4b参照)

黒色の横材を取り付けるとき、上部の取り付け穴がずれないように、きちんと合わせてください。本体取付け用ボルトを差し込んで固定し調整すると、穴位置がうまく合います。(前面 6mm径×30mm、背面 6mm径×55mm)(図4c, 4d参照)



図5
補強ブレース取り付け

5. 補強ブレースを脚部の背面側にそれぞれ取り付けてください。この部品を付けることで本体が安定し、作業者の安全性が高まります。(図5参照)

脚部がうまく組みあがったら、ナットとボルトを完全に締め付けてください。穴位置を合わせるために差し込んでいた本体取付け用ボルトは一旦外してください。



図6
組みあげた脚部外観



図7
脚部に本体を取り付ける。前面と
背面の取り付け位置。

2. 脚部に本体を取り付けます。

(注) 本体は重量があるため、取り付ける際に本体を持ち上げるときには、2人以上で作業することをお勧めします。

付属しているボルト4本、ワッシャー、ナットを使用して、本体を脚部に取り付けます。本体が正しい向きであることを確認してください。四方の本体取付け用穴にボルトを差し込み、本体と脚部を固定するためにしっかりと締め付けてください。(前面 6mm径×30mm、背面 6mm径×55mm) (図7参照)



図8
エクステンションテーブル

3. エクステンションテーブル (拡張テーブル)

(注) スチール製拡張テーブルは、左右同じ形状です。1つ穴がある面がテーブルソー前面にくるようにしてください。(図8参照)

1. 6mm六角ボルト、ワッシャー、ナットを使って、テーブルサポートを拡張テーブルに取り付けてください。背面側テーブルサポートは背面側にある穴に合わせてください。両方のテーブルサポートがそれぞれの穴の中央部にくるように合わせて締め付けてください。(図9参照)

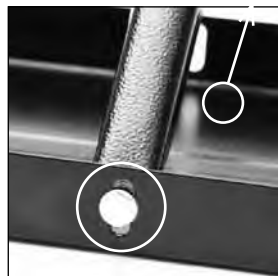


図9
テーブルサポート取り付け

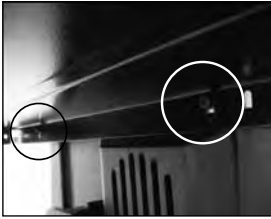


図10
エクステンションテーブル本体に
取り付け



図11
拡張テーブル接続面



図12
テーブルサポートをタレット(本
体側部の溝)に取り付け



図13
エクステンションテーブル取り付
け完成図

2. テーブル左右両方の側面にキャプティブナットが組み込まれています。拡張テーブルを(1つ穴がある面がテーブルソー前面にくる向きに)5mm径穴付ネジとワッシャーを使って、テーブル面に取り付けてください。(図10参照)

3. 本体テーブルと拡張テーブルの接続部が水平で同じ高さになるようにしてください。(図11参照)5mm径穴付ネジをしっかりと締め付けてください。

4. 直線定規などを横に渡して、本体テーブルと拡張テーブルの面が揃っていることを確認しながら、テーブルサポートを本体側面に位置合わせします。六角セルフタッピングネジを使って、タレット(本体側面溝)にねじ込んで締め付けます。タレット(本体側部の溝)にしっかりと固定してください。(図12参照)

5. 拡張テーブルの位置を微調整しながら、各ネジをしっかりと締め付けて固定してください。(図13参照)



図14
リップフェンス



図15
リップフェンス組立て

4. リップフェンスの組立て方

リップフェンスのガイドには、調整可能なアルミ製プレートがついています。通常の使用では、このアルミ製プレートは、リップフェンスのスチール製キャリア(角棒主軸)に垂直方向に、キャリアの左手側に取り付けて使用します。(図14参照)

1. 2本の6mm径×60mmドームヘッド・コーチボルトをキャリアの左側から穴に通して差し込んでください。(図15参照)
2. ワッシャーと緑のつまみネジ部品をキャリアの右側に来るように付けてください。
3. アルミ製プレートの溝にボルト頭を入れて、スライドさせて差し込んでください。
4. つまみネジ2本を締め付けてください。

(注)リップフェンス・クランプの拡大鏡が隠れないように取り付けてください。

5. フェンスレール



図16
フェンスレールを金具で連結する

フェンスレールは、2つの部品を連結して組み立てます。長い方のレールを右側にしてフェンス連結固定金具を、長方形の凹みに差し込み、フェンスレールに渡るようにします(図16参照)。金具はフェンスレールの両側に均等(連結部の中央)に位置するようにしてください。(図17参照) 6mm径×15mmドームヘッド・コーチボルト6本が、フェンスレール裏側の溝を通るように、差し込んでください。

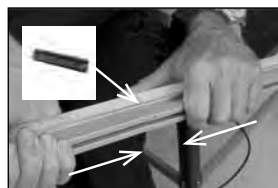


図17
フェンスレールを金具で連結する

1. フェンスレールを本体前面に取り付けます。
2. ボルト6本をそれぞれの穴の位置に合わせてください。(左右拡張テーブルに各1箇所、アルミ製中央テーブルに4箇所あります。)(図18参照)
3. ワッシャーと6mm径ナットを使って、フェンスレールを本体に固定してください。締め付けは工具をもちいず手締めしてください(仮止め状態)。



図18
フェンスレールを調整する

リップフェンス・フェンスレール調整のしかた

(注)以下の作業は、電気工具を主電源に接続していない状態で行ってください。

リップフェンスは、正確に数値を読み取るために、正しい位置に設置する必要があります。

フェンスレールの調整をする前にリップフェンスの調整を行ってください。

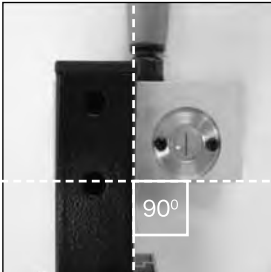


図19
リップフェンス調整

6. リップフェンスの位置を点検・調整する

フェンスレール(仮止め状態)とリップフェンスを本体に取り付けたら、リップフェンスがノコ刃に平行であることを確認します。(図19参照)

1. ノコ刃を一番上げた状態にしてください。
2. ノコ刃に直角尺などの工具をあててください。
3. リップフェンスを直角尺の位置まで近づけ、平行であることを確認してください。
4. 調整が必要な場合には、スチール製キャリアの穴から、穴付ネジを締めなおして調整します。(図20参照)
5. 六角レンチを使ってネジを緩めて、フェンスが平行になるように調整してください。
6. 調整が完了したら、ネジをしっかりと締めなおしてください。
7. ノコ刃を下げてください。

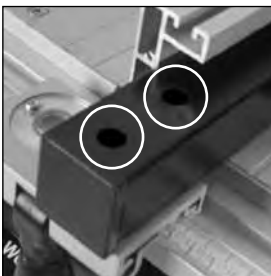


図20
リップフェンス 穴位置



図21
本体にフェンスレールを取り付ける



図22
フェンスレール調整のためのリップフェンスと刃の接触図



図23
拡大鏡、目盛りの「0」位置

7. フェンスレールの調整・固定

本体にフェンスレールを取り付けます。(図21参照)

1. リップフェンスの位置を、フェンスレール上でノコ刃の右手側まで動かしてください。
2. ノコ刃を上げてください。(19P操作方法2を参照)
3. リップフェンスを、上げたノコ刃に触れる位置までフェンスレールに沿ってスライドさせてください。(図22参照)
4. リップフェンス拡大鏡をのぞきながら、目盛りの「0」位置が拡大鏡の基準線に(図23参照)一致するまで、フェンスレールを左右にゆっくりと動かしてください。
5. 調整が済んだら、フェンスレールの6本のナットをしっかりと締め付けてください。
6. ノコ刃を下げてください。

(注)リップフェンスは、フェンスレールに差し込まれている構造なので、レールに沿って電動工具左右両側の好みの位置で、ロックレバーを押下げて固定することができます。



図24
マイターゲージ (縦型固定クランプを装着していない状態)

8. スライド式マイターゲージ

(注)マイターゲージは、本体テーブル面の逆T字型スロットにはめ込み、スライドさせて使用します。(図24参照)

プラスチック製の分度器部分に、調整式アルミ製フェイスプレートが、6mm径ドームヘッドネジとつまみネジで装着されています。

1. ロックハンドル部分を反時計回りに回してロックを解除し、マイターゲージ角度を調整します。



図25a
マイターゲージ(縦型固定クランプを装着した状態)



図25b
マイターゲージの軸受けに、固定ネジ差し込み

2. 分度器の針に目盛りを合わせて、角度を設定します。

3. 角度を設定したら、垂直ハンドルをしっかりと締め固定してください。

(注)縦型固定クランプは必要な場合のみ装着することをお勧めします。(薄いシート状の材料や金属製薄肉管を切断するときなど) 取り外した場合には、必要時に備えてきちんと保管しておいてください。

縦型固定クランプを取り付けるときには、軸部分をマイターゲージの軸受けに差し込み、固定ネジ(3mm×7mmネジ頭無)を締めてください。(図25a 図25b参照) 固定ネジを締めるときや緩めるときには、マイターゲージのフェイスプレートを取り外してから行ってください。



図26
保護カバーを装着した状態

9. 保護カバー

割刃には、必ず保護カバーを装着してください。保護カバー上部に沿って入っている溝は、ノコ刃の切断ラインを示しています。さらに、保護カバーに描かれているグラフィックが、ノコ刃の切断ラインを見極めるガイドとして機能します。

(注)保護カバーを取り付けるときには、必ずコンセントを抜き、スイッチを押しても、モーターが回転しないことを確認してから行って下さい。

割刃(ライビングナイフ:各部の名称③参照)

割刃は重要な部品です。工場出荷時に適正に調整されています。割刃は、切断中に加工材がノコ刃に挟み込まれるのを防止します。割刃を定期的に点検してください。磨耗している場合は交換してください。

1. 割刃(ライビングナイフ)を完全に出すには、ノコ刃を一番上まで上げてください。
2. 割刃の穴に保護カバーの位置決めピンを差し込み、片側をフ



図27a
ノコ刃は垂直位置で、側面カバー
(半透明のサイドガード)がテー
ブルに接触している状態



図27b
ノコ刃を傾斜させ、側面カバーを
取り外した状態

ッシャーと蝶型ナットを使って留めてください。保護カバーは、上下に自由に動く可動式ですので、蝶型ナットを締めすぎないでください。(図26参照)

3. ノコ刃の頂部と側面が完全に覆われた状態で、保護カバーが円滑に動くことを確認してください。

4. ノコ刃を少し下げた状態でも、保護カバーの動きに問題がないことを確認してください。

5. ノコ刃の高さにかかわらず保護カバーが円滑に動作することが確認できたら、ノコ刃を下限位置まで下げたときに、保護カバーと側面カバー(半透明のサイドガード)がテーブル面に接触していることを確かめてください。(図27a参照)

(注)

傾斜切断、角度切断、複合角度切断をするときの保護カバー

傾斜切断、角度切断、複合角度切断をするときには、左側もしくは両側の側面カバーを取り外すことが必要になります。(図27b参照)

プラスドライバーで緩めて側面カバーが取り付けられているネジとワッシャーを外してください。

取り外した側面カバー、ネジ、ワッシャーは紛失することがないように保管しておいてください。

保護カバーは、位置決めピンを割刃にネジで留めて、確実に取り付け使用してください。保護カバーの位置は、刃先ができるだけむき出しにならないようノコ刃を覆い、切断する材料が下をちょうど通るのが適当です。傾斜切断、角度切断、複合角度切断を終えたら、保護カバーを元の状態に取り付けなおしてください。保護カバーが円滑に動くことを再度確認してください。

操作方法

制御・調節

1. ON/OFF安全スイッチ

警告：スイッチを入れる前に、保護カバーが正しく取り付けられ、円滑に動作することを確認してください。

赤い安全ボタン脇のつまみを押してスイッチカバーをあけると、ON/OFFボタンがあります。本機を始動させるにはONボタンを押してください。停止させるにはOFFボタンを押してください。(図28参照)

(注)本機を始動する前に、必ず安全上の指示事項を全て確認してください。



図28
スイッチ (写真は日本仕様と異なります)



図29
ノコ刃昇降ハンドル

2. ノコ刃の高さを変える

(注)ノコ刃の高さを調節するときは、必ず本機の電源が入っていないこと、ノコ刃が停止していることを確認してから作業してください。

昇降用ハンドル(ノコ刃高さ調整ハンドル)を回して、ノコ刃の高さを変えます。ノコ刃を下げるには、ハンドルを時計回りに回してください。ノコ刃を上げるには、ハンドルを反時計回りに回してください。(図29参照)



図30a
ノコ刃傾斜ロックレバー

3. ノコ刃を傾斜させる

ノコ刃は、左45度まで傾斜させることができます。ノコ刃を傾斜させるには、傾斜ロックレバーを解除し、必要な傾斜角度になるまで角度調整用ホイールを回転させます。

傾斜角度が決まったら、傾斜ロックレバーを締め付けてしっかりと固定してください。(図30a・図30b参照)



図30b
ノコ刃角度調整ホイール



図31
リップフェンスガイド

4. リップフェンスガイド

リップフェンスはノコ刃左右のどちら側にも置くことができます。ロックレバーで位置を固定して使用します。レバーを上げるとロックが解除され、レバーを下げるとロックされます。

(注)リップフェンスガイドには、フェンスレール上の目盛りを読み取るための拡大鏡が付いています。

リップフェンスの前後位置を調整することができます。つまみネジ(2本)を緩め、アルミ製部材の溝に沿って前後にスライドさせて好みの位置に合わせます。つまみネジを締めて固定させてください。(図31参照)



図32
ノコ刃左手側に設置したリップ
フェンス

(注)リップフェンスをノコ刃の左手側で使用する場合には、アルミ製部材がキャリア(スチール箱型部分黒色)の右手側にくるように組みなおします。

つまみネジを緩め、アルミ製部材を抜き取り、ボルトとワッシャーを一旦取り外します。ボルトを反対面から差し込み、ワッシャーとつまみネジで固定します。スチール箱型部分の右手側に付け直します。(図32参照) 上述の手順で位置を調整して使用してください。

右手側で使用する場合には、元の状態に組みなおしてください。



図33
マイターゲージ

5. マイターゲージ

マイターゲージは、テーブルの左右どちら側でも使用することができます。テーブル面の逆T字型スロットにはめ込み、スライドさせて使用します。

垂直ハンドルを反時計回りに回すと、マイターゲージのロックが解除しますので、角度を調整してください。好みの角度に合わせたら、ハンドルを時計回りに回してマイターゲージを固定します。(図33参照)

(注)マイターゲージのアルミ製フェイスプレートが、ノコ刃に接触しない程度に近くになるように調整します。調整するには、つまみナットを緩め、フェイスプレートを必要な角度までスライドさせてください。つまみナットをしっかりと締めてください。



図34
マイターゲージ (縦型固定クランプを装着した状態)



図35
集塵機を粉塵排出口に取り付け



図36
横切り

6. 縦型固定クランプ

薄いシート状の材料や薄肉箱型の材料(鋼鉄は3mm厚まで)を切断する場合には、縦型固定クランプを使うことができます。(図35参照) 調整用ハンドルとノブを使って適切な位置に装着します。

(注)縦型固定クランプのヘッド部分が、切断する材料に触れるか触れない程度に調整します。縦型固定クランプで切断する材料を軽く挟んで押さえてから、ヘッド部分を4分の1から2分の1程度回して戻すと、うまく調整できます。

テーブルソー基本操作方法

(注)必ずリップフェンスやマイターゲージを使って、材料を固定させて切断作業を行ってください。フリーハンドでは絶対に行わないでください。ノコ刃が噛み込んだり、キックバックが起こる危険性を軽減するために、常にガイドやフェンスを正しく使ってください。ノコ刃の高さは、切断する材料からノコ刃が約3mm程度突き出している状態を推奨します。高さの調整は、前述の手順(操作方法2.参照)に従って行ってください。本機は、相欠継ぎの溝加工には適していません。必要に応じて、吸引掃除機や集塵機を、本機背面の粉塵排出口に接続することができます。(図35参照)

(注)傾斜切断、角度切断、複合(角度+傾斜)切断に合わせて、それぞれ保護カバーを調整してください。(17P組立方法9参照)

1. 横切り

マイターゲージを0度(直角)にセットし、垂直ハンドルで締め付けて固定します。T字型スロットに沿ってスライドさせて位置を決めたら、前述の手順に従ってフェイスプレートを調整してください。フェイスプレート面に切断する材料をあてます。スイッチを入れ、ノコ刃の回転が安定してから切断を開始します。(図36参照) 注意: 傾斜切断、角度切断、複合(角度+傾斜)切断に合わせて、それぞれ保護カバーを調整してください。

2. 角度横切り

角度横切りとは、直角以外の角度切りができる切断方法です。マイターゲージで角度を設定し、固定してから、上述の手順に従って横切りをします。

3. 傾斜横切り

傾斜横切りは、横切りと手順は同様ですが、ノコ刃を傾斜させて



図37
傾斜横切り



図38
複合角度切断



図39
連続切断



図40
縦切り

切断する方法です。上述のようにノコ刃を好みの角度に傾斜させたら、しっかりと固定されていることを確認してください。マイターゲージを0度(直角)に設定し、フェイスプレートがノコ刃に接触しない位置に調整してください。マイターゲージに切断する材料をあてて切断します。(図37参照)

4. 複合角度切断

複合角度切断とは、角度切断と傾斜切断を合わせた切断方法です。

マイターゲージとノコ刃傾斜を好みの角度に調整します。それぞれしっかりと固定してください。

マイターゲージが材料を送るときにノコ刃に接触しない位置に調整されていることを確認してください。必要の場合は、マイターゲージのフェイスプレートを調整してください。(図38参照)マイターゲージに切断する材料をあてて切断します。

5. 連続切断

連続切断とは、切断する材料を一枚ごとに墨付けせずに、同じ寸法のを複数切断する方法です。

(注)連続切断(横切り)を行う場合には、マイターゲージはノコ刃左手側、リップフェンスはノコ刃の右手側に設置して使用することを推奨します。

定寸の横切りのときに、リップフェンスを利用して長さを決めることもできます。(図39参照)

6. 縦切り

縦切りとは、加工材を縦方向に切断する方法です。(図40参照)

縦切りは、必ずリップフェンスを使って行ってください。通常は、リップフェンスを右手側に設置します。

マイターゲージは縦切りでは必要ありませんので、必要時に備えてきちんと保管しておいてください。

マイターゲージとリップフェンスを基準にして切断していきます。左手で加工材をマイターゲージに押し当ててください。

加工材をノコ刃へとゆっくりと送り出して切断します。ノコ刃右手側で、加工材を右手で補助します。必要の場合はプッシュスティック(押し棒)を使用してください。

(注)リップフェンスがノコ刃に対して平行に調整され、しっかりと固定されていることを確認してから、切断作業を行ってください。

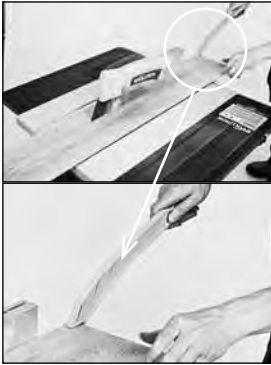


図41
プッシュスティック使用例



図42
傾斜縦切り



図43
アクセス板を外している様子

割刃がノコ刃に揃っていることを確認してください。

小さい部分を切断する場合には、プッシュスティックを使い、指をノコ刃に近づけすぎることがないように安全に作業してください。300mm以下の加工材には、必ずプッシュスティックを使用してください。(図41参照)

長尺・幅広材を加工するときには、材料を安定した状態にするために、バイス(固定器具)などを使用してください。

加工材をリップフェンスに沿わせて、一定の速度で切断されるように、加工材を正しくコントロールして送り出してください。必要に応じてプッシュスティックを使用してください。

切断幅が300mm以上の場合には、十分注意しながら、両手で加工材を保持しながら送材します。左手はノコ刃左手側に、右手はノコ刃右手側のリップフェンス近くに置きます。刃の進行方向には絶対に指を置いてはいけません。

7. 傾斜切断

傾斜切断する加工材の幅が150mm以下の場合には、リップフェンスはノコ刃右手側でのみ使用してください。(図42参照)

保守・点検

(注) 点検・手入れの際は、必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ノコ刃(チップソー)の交換

(注) ノコ刃を交換するときには、保護手袋を着用することを推奨します。

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 保護カバーを取り外します。(組立方法7参照)
3. テーブルのアクセス板両端にある皿ネジを取り外して、アクセス板を外します。
取り外したアクセス板と皿ネジは、紛失しないようにきちんと保管しておいてください。(図43参照)
4. ノコ刃を上限位置まで上げます。
5. 付属している2種類のノコ刃交換用ツールを使用します。一方はモーター軸を押さえるためのもので、もう一方は、軸ナットを



図44
付属ツールを使ってノコ刃を取り外している様子



図45
割刃を固定しているナット



図46
定規などで確認

緩めるためのものです。ネジはモーター軸をしっかり右手で固定し、左手で軸ナットを手前方向(割刃の方向と逆)に回すと外れます。(図44参照)

※チップソーを外す際はノコ刃でけがをしないよう十分に気負付けてください。

6. ナット、外フランジ、ノコ刃を取り外します。

7. 新しいノコ刃を取り付けます。ノコ刃の向きは前方(チップソーの印刷がモーター側)に向けて取り付けてください。ノコ刃に表示されている矢印を、モーター回転方向に合わせてください。

8. 外フランジとナットを戻し、付属スパナを使ってしっかりと締め付けます。両側のフランジがノコ刃に接触していることを確認してください。

9. アクセス板を戻し、ネジで留めて固定します。ネジはしっかりと締めてください。

10. 保護カバーを戻します。

清掃

ご使用後は毎回、清掃してください。本機についた切粉など吸引掃除機を使ってすべて取り除いてください。吸引掃除機を本体背面の粉塵排出口に接続することもできます。これで、本機内部の切粉を取り除くことができます。

プラスチック部分を清掃する際に、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。(本体をいためます。) 水で湿した柔らかい布でふき取ってください。

割刃(ライビングナイフ)の交換

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 保護カバーを取り外します。(組立方法7参照)

3. テーブルのアクセス板両端にある皿ネジを取り外して、アクセス板を外します。

取り外したアクセス板と皿ネジは、紛失しないようにきちんと保管しておいてください。

4. ノコ刃を上限位置まで上げます。

5. 割刃を固定しているナット(図45参照)を緩めてください。ナット・ワッシャー・割刃留めプレート・割刃の順に取り外してください。

6. 新しい割刃を取り付け、割刃留めプレート・ワッシャー・ナットの順でしっかりと締め付けてください。

7. 割刃がチップソーに対して真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。(図46参照)

8. アクセス板を戻し、ネジで留めて固定します。ネジはしっかりと締めてください。

9. 保護カバーを戻します。



図47
プッシュスティック収納場所



図48
ノコ刃収納場所

(注) 割刃を交換する場合は、指定のエボリューション純正品をお使いください。純正品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となります。ご不明な場合は、ヘルプラインまでお問い合わせください。

プッシュスティック

本機には、プラスチック製プッシュスティックが付属しています。本体の右側に専用の収納場所が設けられています。(図47参照) プッシュスティックは、使用しないときにはここに収納してください。

(注) プッシュスティックが破損した場合には、新しいものと交換してください。プッシュスティックを自作する場合には、本機に付属しているプッシュスティックと同じ形状に作ることを推奨します。交換用プッシュスティックは、当社営業所へご注文いただけます。

ノコ刃収納場所

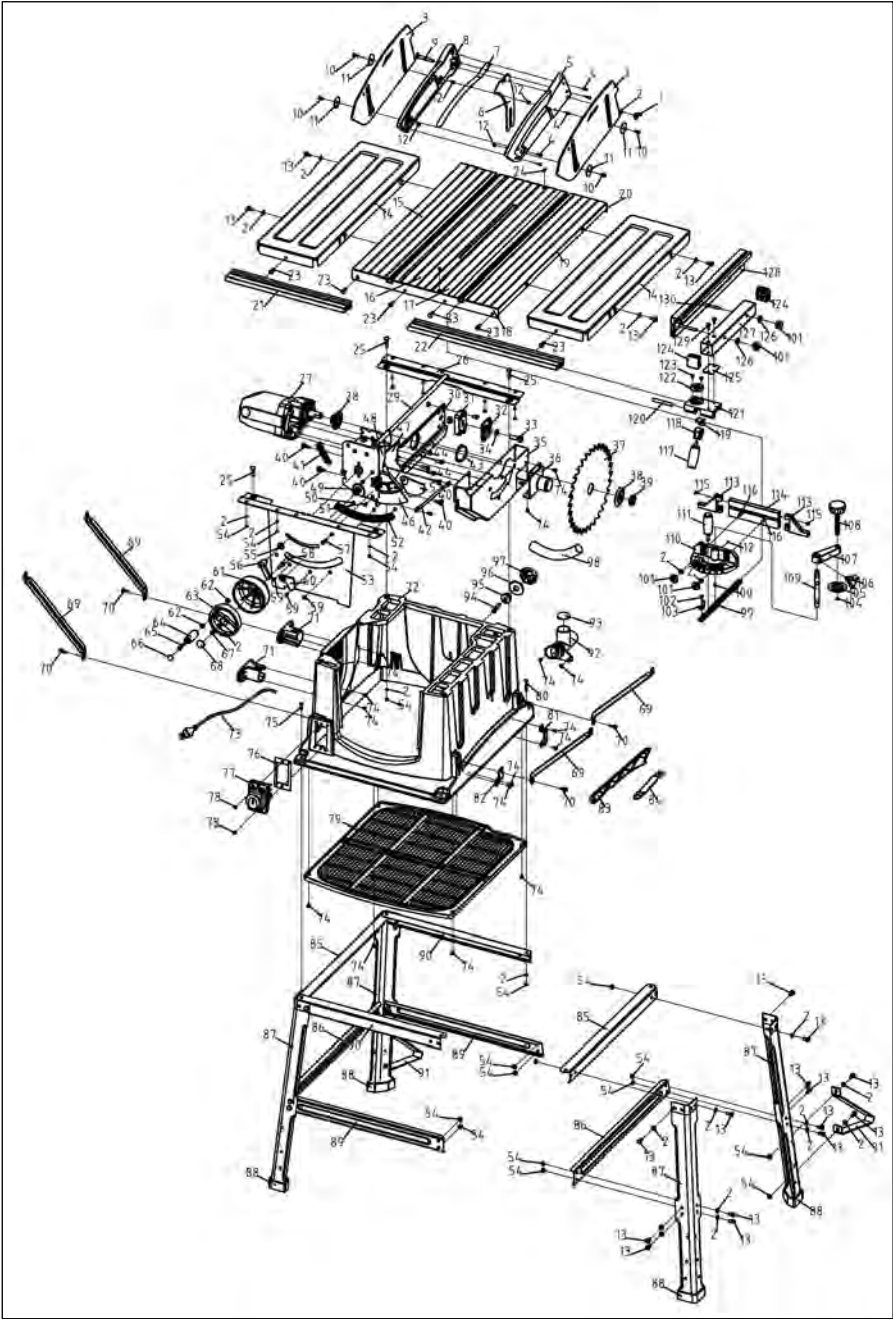
ノコ刃収納場所は、本体背面に設けられています。(図48参照) 中央部のハンドナットを外し、交換用ノコ刃(チップソー)を、径25.4mmの金属製フランジに付けます。中央のハンドナットでノコ刃を固定してください。

地球環境への配慮



電気機器製品を廃棄する際は、家庭ごみとして捨てないでください。リサイクル処理施設でリサイクルしてください。リサイクルについては、各自治体又は販売店にお問い合わせください。

PARTS LISTS



保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい

255mm万能切断テーブルソー

お買い上げ日

平成 年 月 日

保証期間

1年

お客様記入欄*

ご住所	
ご芳名	
電話	
販売店	

(注) *印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には「有料修理」となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼に出来ない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存しておいてください。
- 本書は日本国内において有効です。

仕様

仕様明細			
電源	AC 100V	チップソー外径 (超硬合金)	255mm
周波数	50/60Hz	穴径	25.4mm
消費電力	1500W	刃厚	2.0mm
回転数	2500min ⁻¹	歯数	24T
割刃 (ライビングナイフ) 厚	1.8mm	最大切り込み深さ (直角時)	73mm
質量	25kg	最大切り込み深さ (傾斜45度時)	54mm

* 製品改良のため予告なく仕様変更することがあります。



エボリューションパワーツール株式会社

〒544-0031 大阪市生野区鶴橋5丁目-21-19

お客様相談センター

フリーコール： 0120-05-1415

*当社特定サービス工場にて対応しております。